

FRENCH FASTER

Learn French Faster and Smarter

発音レッスン

【準備編】

< 母音 >

この「準備編」テキストはオンラインレッスン前に自習しておいてください。

【1】母音台形について

よく「日本人のカタカナ英語はネイティブに通じない」といいますが、これは日本語の「音」で英語の「音」を発話してしまうことが原因のひとつです。

日本語は他の言語と比べて

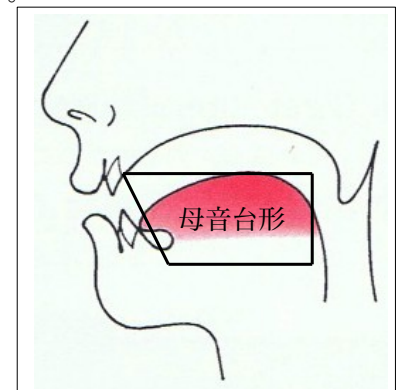
①【母音の数が少ない】 ②【音域や口の開閉度合いが狭い】という特徴があります。（※下図参照）

右下の図は「母音台形」と呼ばれる図形で発音時の舌の位置を表した図です。イメージとして、左に向いている横顔を当て込んでみるとわかりやすいです。

これで見ると一目瞭然、日本語の「音」では届かない位置にアルファベットの「音」があります。

フランス語の母音は12個の「母音」と4つの「鼻母音」から構成されています。

発音レッスン【実践編】では下記の「母音台形」をベースに進めていきます。実践編テキストにも母音台形を表記してありますので、最初にご自身の「舌の位置」や「口の開け方」を意識して受講してみてください。



母音台形

【上下】

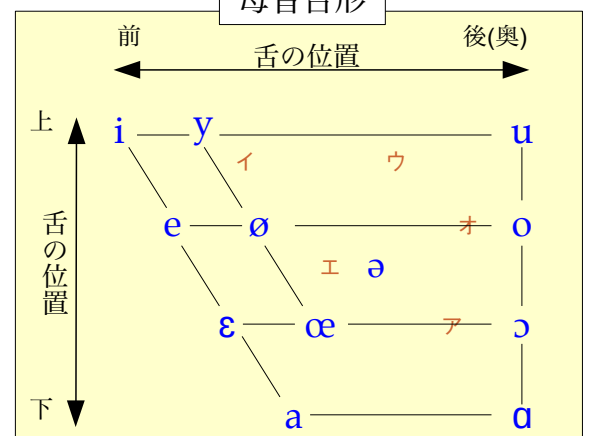
舌の位置を上にもって行くと口が自然と狭まり、下にもって行くと広く開くこととなります。一番下の音 (a,ɑ) はあごを最後まで落とすイメージです。

【前後】

舌の位置の前後位置ですが、発音するところが舌の前か後ろかというイメージをするとよいです。前の音の方が舌が尖り、後ろになると平たくなります。

【中心】

中心にある音[ə]は力を抜きリラックスして出す音です。



【2】発音記号

フランス語は英語に比べれば日本語のカタカナ音でも通じやすい言語です。ただし「母音台形」を見てもお分かり頂けるように、カタカナとはズレがありますので、テキストでは「発音記号」をベースに構成してあります。とは言っても、いきなり発音記号を覚えるのは大変です。

そこでフレンチファスターのテキストでは、学習初期は理解しやすいように、**発音のサポート**としてカタカナを併記してあります。カタカナはあくまで「それに似た音」という認識程度で、あまりカタカナにつられないでください。

徐々に発音記号、そして単語だけで発音できるようになって頂けるようにレッスンしていきましょう。